

## 平成30年度「みえの現場“やっぱし”すごいやんかトーク」(伊勢市)の概要

平成30年8月21日(火) まちづくり交流館明倫<sup>めいりん</sup>(伊勢市)で「みえの現場“やっぱし”すごいやんかトーク」を開催しました。

当日は、「明倫地区まちづくり協議会」の皆さんから、防災の取組を中心に、安全・安心のまちづくりについてお話を伺いました。



自己紹介、団体の活動概要の紹介の後、知事とフリートークを行いました。

### 【参加者からの発言】

Q 活動を通じてよかったこと、達成感を得られたことなどを聞かせてください。

○協議会で「災害対策シート」を作成しました。「災害対策シート」を書き込む際に家族が話し合うことで、万が一のときの避難先などをお互い事前に確認し合うことができます。また、「災害対策シート」は、休日夜間応急診療所の連絡先を記載し、裏をマグネットにしたので、毎日使う冷蔵庫などへ貼り付けることができ、日常的に使えるものとなるよう工夫しました。

○子どもやタクシードライバーの視点での提案から、危険箇所へのガードレールの設置や、植木の撤去などによる見通しの改善につなげることができました。実際に事故が大幅に減ったことで、大きな達成感がありました。

○皆さんと活動する中で、「自分たちで自分たちの街をしっかり守るぞ」という意識を持つようになりました。また、仕事を通して自分に何ができるのか、地域の中

でどの分野で役に立てるのか、ということを考えるようになりました。

- 協議会で活動する中で、地域で困っている子どもたちがたくさんいることを実感しました。いつかは子ども食堂をしたいと思います。このような考えを持つきっかけをいただき、協議会の皆さんに感謝しています。
- 活動に参加することで、地域のことも知らないことがたくさんあることに気がきました。いろいろなことを学ぶことができてよかったです。
- 近所の山沿いの道で、木が覆い茂り倒れかけていて、渋滞を起こすなど危険な場所がありました。協議会で話題にしたら、木の所有者へ相談に行くことになり、伐採することができました。このような経験の積み重ねで、みんなのために考え、みんなのために具体的に行動できるようになり、意識がかなり変わったと思います。
- 「避難所運営訓練」の中で、協議会の皆さんが一生懸命取り組んでいる姿を見て、自分も何かできることがあるのかなと思います。小さな子どもの面倒を見てあげたり、高齢者の方に声をかけることができました。「人のために何かできたらいいな」という気持ちになれたことがとてもよかったです。
- 小学生が考えた標語の看板を、ダストピットなどへ設置しました。おじいさんやおばあさんが「孫がつくった標語」ということで、見に来られたりします。このように取組を形にして次世代へつなげていくとよいと思います。

**Q 今後の夢や課題について教えてください。**

- 避難所の運営のマニュアルを、次世代につなげていく、形あるものを残していくということは非常に大事なことです。しっかりしたものを作成していきたいと思っています。
- 企業の建造物を緊急時の一時避難所としていただくなど、指定避難所以外の避難所の確保を進めたいです。そのためには、協議会だけでなく行政や各種ボランティア団体などたくさんの組織と一緒にプランニングしていきたいと思っています。
- 子どもの参加が親の参加を促すことがあるので、そのような視点でのアプローチなど、いろんな方に活動に参加してもらえるシステムを作ることが今後の課題です。もっと声掛けをしたり、情報発信の方法などを考えていきたいです。
- 協議会の取組について、協議会のホームページで紹介しています。他の地域の取組の参考にさせていただいたり、逆にアドバイスをいただいたりしたいです。また、今回の「すごいやんかトーク」など、活動のPRができる機会を捉え、命を守ることの大切さを大きく広めていきたいと思っています。
- あんぜん・あんしん委員会は、実際に危険な場所を見に行くなど、行動をする委員会であることを期待されていますし、そうでありたいと思っています。
- 協議会の活動は、これまではいろいろな行事を行うなど、勢いがあり進んできました。今後も弱体化せず継続的に活動していくことが課題です。そのためには、

住民や地域のお年寄り、子どもの命を守っていくという基本的な目的をしっかりと認識していきたいと思います。

### 【知事の発言】

○県の進めている「防災の日常化」を実践していただいている具体例をたくさん聞かせていただきました。形が見えるように分かりやすく行うということは、非常に重要なことで、それを実践していただいていることを改めて実感し、大変勉強になりました。

○来年（平成31年）は三重県にとって、伊勢湾台風から60年、昭和東南海地震から75年という節目の年です。地震、津波、風水害における自助、共助などの取組の参考にさせていただきたいと思います。

○皆さんの取組は、ゆるぎのない素晴らしいものです。これからも先進的に取り組んでいただきたいと思います。



「明倫地区まちづくり協議会」は、「自分のできる事は、自分でやろうぜ。地域のこと、みんなでやろうぜ。」を基本理念とし、子どもも高齢者もみんなが安心して暮らせる、活気あるまちづくりをめざし、5つの委員会を設け活動しています。

あんぜん・あんしん委員会では、「避難所運営訓練」の実施や「災害対策シート」の活用など実践的な防災対策に取り組んでいます。